

東広島植物園では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

☆組織改編・・・植物管理室は、2019年4月より統合生命科学研究科・附属宮島自然植物実験所の所属となりました。

理学研究科公開(11月2日)



恒例となっている理学研究科公開を実施しました。当日は、秋晴れの中多くの参加者が来られました。しめ縄作りは今年も好評で、毎年ここで自宅のしめ縄を作られる方も増えてきました。

今年は、デジタル自然史HPの活動をしている学生さんによる生き物のポスター展示を行いました。秋の植物やきのこ、生き物の紹介など多様な内容でした。



旧生物学科 11 回 生・昭和38年卒のみなさんが来園

植物園とは、植物を、収集、保存、展示するだけでなく、植物学および自然環境教育の発展に貢献する施設です。ここ東広島植物園においても、学内支援だけでなく、広く学外に向けても植物と接する場を作りたいと考えています。今後の目標として、大温室展示の充実や水生植物の収集を進めていく計画です。

キャンパスの里山管理

サギソウ・モウセンゴケの自生する湿地の保全

9月27日に教職員、学生の有志11名にて、ビオトープの整備作業を行いました。ここには、湧き水の出る小さな湿地が形成されており貴重な湿地植物が生育しています。



まずは、ヨシなどが繁茂し草原化しているところの草を掻き出し、日当たりを良くしました。そのあと湧き水の流れる水路の泥上げを行い、同時にアメリカザリガニも駆除することができました。作業の数か月後には水量も安定して、さっそくマツモムシなどの水生昆虫が多くみられるようになりました。これから早春のアカガエルの産卵が楽しみです。

フィールドナビ「キャンパスのドングリ観察」



イチイガシの解説を熱心に聞く参加者のみなさん

秋晴れの中、11月8日にキャンパスにてドングリ観察を行いました。総合博物館をスタートしてキャンパスに植えられているドングリの木を観察しました。途中でシイの実も食べました。小山さんの宮島のドングリについての話もありました



教室に戻って、もう一度観察したドングリについておさらいをしました。最後は、「ドングリ図鑑」を作った秋のキャンパスを楽しみました。

栽培実習・R1 秋コース 収穫編



立派なハクサイやダイコンが収穫できました。みんなで漬物作りも行いました。

R1 年秋コースは、定員をオーバーする多数の参加者でした。圃場は秋の終わりと共に、収穫の時期を迎えています。実習日には、毎回たくさんの野菜を持ち帰ります。時折、野菜に虫が入っていたりして驚くこともありますが、みなさん楽しく実習を体験されています。



東広島探訪講座でのガイド

東広島市の自然の魅力発見



9月11日、「東広島探訪講座」として「東広島の自然」をテーマに発見の小径と山中池周辺を案内しました。参加された市民のみなさんからは、「自然の楽しみ方がわかった」との感想をいただきました。



タヌキマメの花を観察しました

三原附属幼稚園の遠足

9月6日に、年長組25名が遠足に来られました。午前中は、生態実験園で森遊びや川遊びを行い、植物園内でお弁当を食べたあと、午後からはビオトープにて生きもの観察を行いました。園児たちにとってはとてもいい思い出になりました。



園内の樹木

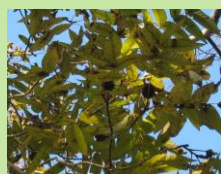
ハシバミ *Corylus heterophylla* ver. *thunbergii*



カバノキ科
樹高は2~3m。花期は3~4月で雌雄同株。果実(堅果)は食用にできる。世界的に流通しているヘーゼルナッツは、本種の同属異種のセイヨウハシバミ。

園内の樹木

ノグルミ *platycarya strobilacea*



クルミ科
本州の東海道以西に分布する落葉高木。松かさ状の果実がなるが、オニグルミのような食べられる種子はできない。種子は風によって散布される。別名:サリノクシ



【お問い合わせ先】

広島大学 統合生命科学研究科
東広島植物園

TEL:082-422-7111
(内線2842)

E-mail : tshioji@hiroshima-u.ac.jp